

発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 倉中 伸



本年も前年度の協会活動のご報告と、貸金業界関係資料及び公知情報などをお届けします。

貸金業界は、新規貸出がやや持ち直しているものの、急激な物価上昇やデジタル化の進展等を背景とした顧客ニーズの変化など、さまざまな課題に直面しております。また、業績不振、後継者難等による事業承継問題も顕在化してきており、本協会は今般、東京都事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業承継問題を抱える協会員に対する情報提供などの支援を開始いたしました。

一方、資金需要者を取り巻く環境は、金融犯罪の手口が巧妙化・複雑化し、副業・アルバイト・投資詐欺等様々なトラブルが若者を中心に増加しています。これを受けて本協会は、昨年6月に消費者向貸付大手4社と協働し、「金融リテラシー向上コンソーシアム」を設立しました。「お金につまづかないための教育」というキャッチフレーズのもと、金融トラブルを回避するための教育・啓発活動を学校領域、職域の両方に向けて展開し、お蔭様で着実に実績が積みあがりつつあります。

このように、様々な変化の中にある貸金業界ですが、本協会としましては、貸金業者が健全な資金を供給することにより国民経済の発展に貢献し、社会から信頼される業界となるよう引き続き役割を果たしてまいります。

なお、本報告書には、今般協会が実施しました事業者金融業者に関する調査の結果を掲載させていただきました。みなさまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

みなさまにおかれましては、本報告書をご高覧いただき、協会活動や貸金業界に対するご理解を深めていただく機会としていただければ幸いです。

今後とも、本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。